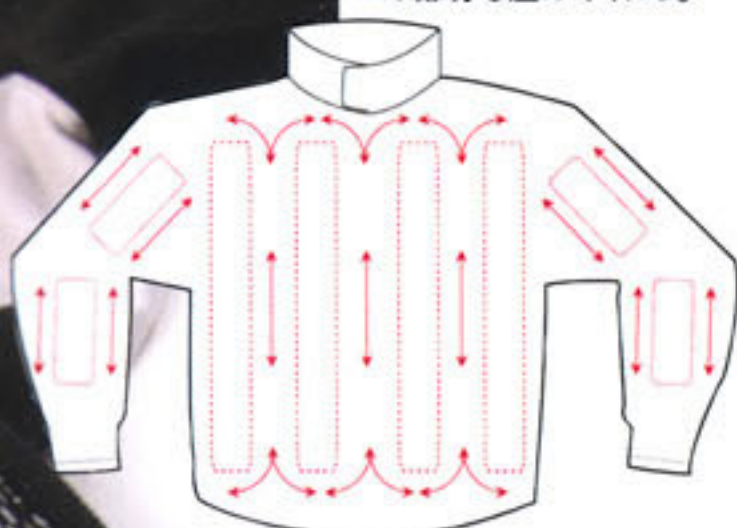


Best choice

自信を持って
おすすめします

体温を奪われやすい部分
に効果的にヒーターを配置。
エリ部分も温めてくれる。



心まで温まる

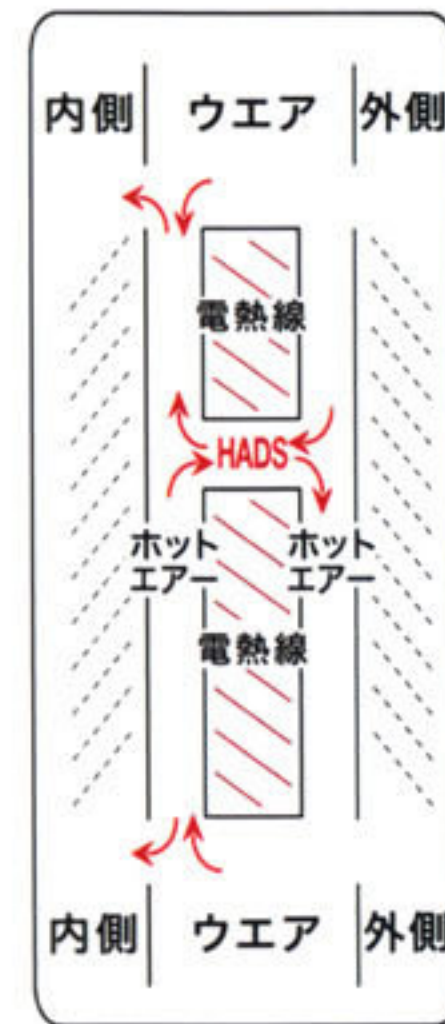


レギュレーターで
温度調節可能

標準装備されるのはオン/オフスイッチ。これをオプションのレギュレーター(4515円)に交換すると無段階の温度調節が可能になる。

HADSとは?

ヒーターで直接体を温めるのではなく、温めた空気をウェア内に循環させるのが克蘭独自のホットエアードISTRIBUTIONシステム。柔らかい温かさの秘密だ。



標準はバッテリーシガーソケットにもオプションで対応
付属のバッテリーケーブルはヒューズ付き。オプションのシガーソケットケーブルは2730円、BMWやDUCATIに対応するHELLA型ソケットケーブルは3360円だ。

KLAN ホットインナー ジャケット

●ホットインナージャケット=2万3940円 サイズ=S、M、L、XL
定格電圧=12V 定格電流=4.2A 消費電力=50.4W
付属品=バッテリーケーブル、ロングスイッチケーブル●問い合わせ:ジャベックス ☎03-3773-7633 <http://www.japex.net>
●Text:Hiroyuki Kaji(BIG MACHINE) Photo:Makoto Tobisawa

違和感ゼロの快適性

初めて電熱ウェアを試着したのは3年前。気温0〜2℃の中を数時間走り続けても、ぼかぼかウキウキが続き、感動したことを思い出す。厳冬期でも体が固まらず、肩も凝りにくい。寒くて心が折れそうになることもない。むしろ、心まで温まるような快適性が、電熱グッズの最大のメリットだ。

以来、様々なブランドの電熱グッズを試してきたが、イタリアの「克蘭」は今回が初。しかも同社設立10周年を機にリニューアルされた新作だという。改良のポイント、背中部分に伸縮性のある素材を採用し、着心地がよくなったこと。身長170cmの筆者はSサイズが最適だった。重量は実測640g。軽く、フィット性に優れ、動きやすい。スイッチを結線しても違和感がなく、汚れたらぬるま湯で手洗いでできることも特筆しておきたい。

長期連載中のマルチストラダにHELLA型ソケットケーブル&レギュレーターを介して接続すると、温かさがなんとも柔らかいではないか。まず背中やお腹がジワッと温まり、その気持ちよさが肩や腕、首に広がっていく。カッと高温になる他社製品もあるが、こういうタイプは意外と疲れやすいものだ。コタツの中で眠るより、きちんと布団で眠ったほうが、疲れが取れやすいのと同じことだろう。

アイドリング状態でバッテリー端子電圧を計ってみると、OFF時13・7V、MAX時13・4〜13・6V。これならバッテリー上がりの心配もない。ただし、急に渋滞路に出くわすと汗をかくので、電熱ウェアの下に吸汗速乾の高機能インナーを着ておくといい。ベスト型(1万8690円)も用意されているから、お好みで。